

# 「京」が科学コミュニケーションに残したもの



## 吉戸智明

現所属 理化学研究所  
革新知能統合研究センター

メーカー研究職、出版社編集、  
大学教員を経て、2010年から  
筑波大学にて広報マネー  
ジャー職。2018年から現職。  
計算科学や人工知能など情報  
系の分野において、戦略的な  
広報を追求して日々実務を行  
う。

講演者: 吉戸智明

(現所属 理化学研究所 革新知能統合研究センター)

日時: 2019年10月7日(月) 18:00-20:00

場所: 東京大学本郷キャンパス 工学部2号館 92B

申し込みはこちらから <https://goo.gl/bzaCHD>

概要:

長らく日本の計算科学を支えてきたスーパーコンピュータ「京」が、2019年8月にシャットダウンを迎えました。「京」は、ハードウェアとしてスパコン世界ランキング1位を獲得し、研究成果でもゴードンベル賞を受賞するなど世界の計算科学の先頭を走ってきました。

本勉強会では、成果以外にも様々な話題を提供してきた「京」を、広報・科学コミュニケーションの視点で振り返ります。私が初めて「次世代スーパーコンピュータ」に関わりを持ったのは、2010年1月のことでした。以来10年近くにわたり、ときに中の人として、ときに外野として、つかず離れずここまでやってきました。それらの記憶をたどりながら、「京」を取り巻くコミュニケーションについて議論したいと思います。